

2013 年度第 1 回 理事会 議事録

日 時：2013 年 5 月 21 日（火）10：30～17：00

場 所：エッサム神田ホール 東京都千代田区神田鍛冶町

I. 開会 進行役：中江専務

II. 会長挨拶 本日は 2013 年度第 1 回理事会にお集まり頂きましてありがとうございます。さて本年度は本質を見極め新しい時代にふさわしい石産協にしていきたいと思ひます。

III. 議事

1 議長選出：望月威男 議事録作成：事務局 中村早苗

2 定足数確認：出欠表をご確認

理事：出席 54 名（83 名中） 監事：出席 1 名（3 名中） 顧問：3 名 オブザーバー：3 名 事務局：3 名
合計：64 名

3 議事録署名人の指名：山口副会長 村田監事（正副会長及び監事より 各 1 名を指名）

4 資料及び議案の確認、新議題の採択 前回議事録の確認

※①2012 年度第 3 回理事会 2013 年度②第 1 回正副 ③第 1 回常任理事会 ④第 2 回正副

5 本会の目的と事業の確認（定款抜粋）

【審議事項】

(1) 入退会者について

中江専務

入会 2 社 退会 4 社

全会一致にて承認（資料：現在会員数の確認）

(2) 理事承認（福島県支部長）について

白木副会長

任期途中ではあるが福島県支部総会にて支部長交代が承認され、上程

宗像新支部長を全会一致にて承認

宗像新支部長により挨拶：頑張っていきたいと思う。宜しくお祈いします。

(3) 理事承認（群馬県支部長）について

小柴地区長

水澤支部長体調不良により任期途中ではあるが交代。新支部長は田部井忠史氏

田部井新支部長を全会一致にて承認

(4) 【広報委員会】「終活読本」（産経新聞社発行）への広告出稿について

上野委員長

上野：広報委員会ではプレスリリースを中心とした対外的な広報活動を行う。墓地離れについて核家族化が原因の一つである。消費者への啓蒙活動と石産協の事業を伝えていくスタンス。

終活が消費者に注目されている。産経新聞にて仮称終活読本を 10 万部発行予定。全国書店にて平積み販売ある程度石産協が監修できる。石産協が作る媒体だと思ふ。最終的にはお墓の大切さで締めくくりたい。

我々が監修した終活読本と思ひて頂きたい。

加納：全体予算として大丈夫なのか？

柴田：予算規模が大きい。300 万円は会費収入の 1 割である。広告の 4 回分の内 1 回分とした方がよいのではないかと広報費ではなく、正式に【広告費】という別枠が必要

射場：今やらないと手遅れになると思ふ。承認頂きたい

反対：0 白票 2 名 賛成多数にて承認

(5) 【広報委員会】一般消費者向け協会ホームページの構築について

上野委員長

消費者はお墓を建てる場合ホームページを情報収集する。正しいお墓の情報を伝えるホームページ。その情報を伝えるのが石産協のホームページとしたい。協力者を募りたい。関連部会の PC 関連会社、外部を含め現在の HP を使いながら構築して行きたい。

反対 0 白票 1 賛成多数にて承認

(6) 【お墓ディレクター】第 10 回検定試験事業結果について

中村委員長

1 級合格者は過去最高の合格率という結果

全会一致にて承認

(7) 「役員候補者管理委員会」委員推薦について

中江専務

全国各地域より 5 名の委員の推薦を審議

全会一致にて承認

(8) 【定時総会】来賓・運営について

中江専務

来賓名簿・定時総会及び年次大会タイムスケジュールを確認

石本：厚生労働省・国交省も来賓とすべきではないか？

中江：窓口をつなげるために井口前会長・伯井渉外担当とともに今後進めていきたい。

全会一致にて承認

(9) 【定時総会】総会資料/2012 年度事業報告及び決算（提出リスト添付）

中江専務

藤原：4.5 日前に理事会資料が欲しい。

議長：決算について説明。全体的に 390 万円財産が増えている。健全にお金が行流れている。

岸田：総会資料岸田氏 名前訂正。

熊野：中国（福建省石材行業協會）に支援金内容の報告はしてあるのか？

井口直前：総会時に許氏に報告する。

2013 年度第 1 回 理事会 議事録

斎藤会計士：2012 年度の決算について正味財産増減計算書 収入と費用について説明。商品棚卸は在庫が増える
と商品棚卸増減額はマイナス 在庫が減るとプラスとなる。財政状況を貸借対照表でみると約 300 万円ほ
ど増えている。予算の方は前年度の繰越を支出、実質的には赤字の予算が組まれている。
池淵：在庫が増えたとのことだが、在庫が陳腐化しないのか見通しを教えてください。不良資産ではないのか？
望月：最終的には売れなくなる可能性はある。不良資産となる可能性もある。
会長：(旧)日本人のお墓の活用方法の考え方があれば説明してほしい。
中村：書籍としては非常によいものである。今ある在庫は最後の増刷である。
池淵：完売を期待する。

全会一致にて承認

(10) 【定時総会】総会資料/2013 年度事業計画及び予算

中江専務

第 4 回定時総会資料の内容確認

会長より対内・対外 重点活動について説明

中村：事業計画だが、南関東地区からの事業計画が上がってきていないがどうなっているのか？

専務：現在提出がない。提出がなければ割愛せざるをえない。問題がある。

長江：鈴木地区長と連絡をとっているが、未だ提出されておらず申し訳ありません。南関東も今年度地区会を開
き南関東地区 東京都の樹木葬、その他動いているのでそれを含めた形で研修を行いたいと思っている。

中江：総会資料の印刷の都合上 5/23 までに提出をお願いしたい。

予算について

議長：お墓ディレクター受検は行わないという前提の予算だが、各委員会・部会の要望により総括的な予算編成になっ
ている。

中江：前期よりの繰越金を今年度の予算に充てた予算案となっている。

石本：新フェアは 800 万の予算だが補助金はあるのか？無いのであるならば予算は妥当なのか？協会の目的の石材
産業の発展等があるが、会員への福利厚生が感じられない。地区会議等も全国の石屋のためになるのか？も
う少し減額して会員メリット福利厚生に回す、国会、行政等などへの意見の具申と建議へ予算を使うこと
はできないのか？中途半端である。理事会の場でもう少し方向性を一致させるべきだと思う。

会長：理事会の席で方向性の議論が必要と言うことには同感である。行政等への件だが、本日理事会終了後に
経産省副大臣を訪問することとなっている。石材産業の発展と更なる向上を図る目的で我々活動してい
るので経産省副大臣に力添え頂きたいとお願いを申し出に行く。

基本方針・予算案について採決

反対 0 白票 0 全会一致にて承認。

(11) 【定時総会】総会資料/組織図について

中江専務

組織図：前年度と変更部分 新：副会長岸本達也・新：福島県支部長 宗像義治 新：群馬県支部長 田部井忠史
顧問の服部仁氏は高齢のため顧問を辞退。何かあればいつでも協力をいただけるということである。

反対 0 白票 0 全会一致にて承認

(12) 2013 年度年間スケジュールについて

中江専務

射場：冒頭に資料到着が遅いとのことだったが、スケジュールに資料提出期限が設けてある。事務局から資料発
送は理事からの資料提出の遅れが配布遅れとなる。資料提出期限は猶予なし。今後は期限をもって資料発
送とする。スケジュールにない情報はないか？

特になし

反対 0 白票 0 全会一致にて承認

【協議事項】 B

(1) 【研修委員会】お墓ディレクター 1 級更新講習について

山口副会長

山口：お墓 D 1 級取得者はある程度情報へのアンテナも高く、DVD を改めて作成提供するという受身の勉強ではな
く、テーマの中から記述する能動的な勉強をする。必要経費削減にもなる。公開を了承された更新者の記
述をホームページにて紹介をする。当初とは少し違う更新だが、意見をお伺いしたい。

前迫：今回更新内容変更。なぜ更新料を取らなくてはならないのか？かかる費用からみると、18 万円であるの
ならば今まで受検にお金を掛けてきた人から取る必要はないのではないか？

山口：更新にあたり ID カード作成代金が必要。受検者も減少している現状。そして基金を崩すのではなく、更新
料 3,000 円を支払って頂くことで費用をまかないたい。現在も 3,000 円更新料を支払ってもらっている。
費用をかけないよう継続して勉強してもらいたい。そのような体制をつくりたい。

前迫：2 級の更新者は半数以下である。なぜ減少してしまうのか問題である。更新者減少の対策が必要ではないか？

山口：確かに 2 級の更新率は低い。お墓ディレクター資格の必要性を感じてもらいたいことが必要だと思う。

我々としては試験の形態をこれから変えていき、お墓ディレクター資格が役に立てるような広報活動も必
要。どうすれば資格価値を感じてもらえるのか考えていかなければならないと思う。2 級に関しては更新
制度を取らないという意見もあったが一度資格を取ったら終わりではなく更新をすることによって 5 年に
一度くらいは勉強する機会があった方がよいのではないかと思う。

上野：広報でもお墓ディレクターの価値について感じていないという話があった。一方で消費者は価値を感じ
ているかもしれない。広報委員会ではお墓ディレクター委員会と協力して消費者へ伝えていこうと思う。

石本：相談室でお墓ディレクターは消費者の質問に答えられていない。消費者の質問に答えられるお墓ディレク
ターが必要。更新料は取らず、又は安い更新料にしてもらいたい。

柴田：お墓ディレクターの消費者からの目は期待するのは事実である。現場力（対話力）をお墓ディレクターに
持ってほしい。工事中心の方も相談室で研鑽する場として考えてほしい。相談室において 1 級取得
者の参加を更新の要件としてほしい。消費者の生の声を聞く機会が研修に繋がると思う。

福川：相談室で1級ディレクターが云々というのは賛同しかねる。一部の事例で、出来ている事例、出来ていない事例があり出来ていないところに声高に意見が集中。ぜひ良い事例を含め前向、建設的な意見がほしい。
山口：お墓相談室に参加する相談員は協会員のみを対象になっていることが大きな課題。現場力は必要だと思う。次回の審議案件までにはしっかりと詰めていきたいと思う。
福川：ご意見のある方は、是非委員会に出てください。

(2) 【お墓ディレクター】 検定の在り方について

中村委員長

中村：新テキストを作成し、検定は1回休みとし、第11回の検定は2年後とする。来年6月に新テキストを発行。新テキストは1、2集のリニューアル。問題集も発刊。どういった試験になるかは一年後の6月に発表予定。現在の書籍は参考資料。テキストは委員会だけではなく正副、有識者の方に集まっただき現在のテキストの精査。幅広い知識を求められていることから終活全般に関わる内容を入れていきたい。
長江：お墓ディレクターテキストを10年の節目での見直しすることはよいと思う。さまざまな事例を考え、相続、継承に難しい分野を書き加えていただきたい。執筆者の一人として協力していきたいと思う。
白井：お墓ディレクターあり方・資格更新の在り方も考えたどうか？目指しているものは何か。どうレベルアップして情報提供をするのか。発想を変え、一度資格を取った人のレベルをどうあげるのか検討していただけたらと思う。
中村：検定は1回休むが、更新は研修委員会とともに、検討する。また、広報委員会と知名度をUPする広報活動についても検討したい。
熊野：お墓ディレクター検定への提案として、一般への試験を行ったらどうか？一般への試験を行うことでお墓ディレクター知名度も上がるのではないかと？
中村：委員会でも一度検討したことがある。ネットでの試験も委員会で議論した。しかし実際受けてくれるかどうかの不安が残り、話は終わっている。次回第11回検定の実施に意識をもっていきたい。

(3) 【新フェア委員会】 NIPPON 石博 経産省後援依頼などについて

二上委員長

二上：平成26年3月8日 石博会場予定地上野恩賜公園
経産省後援について、公の後援なので販売活動は行えない。
予算をいかに使い、知名度をあげるか？この一般への啓蒙活動を地方に持って行けるフォーマット化をめざす。
福川：マスコミの注目度、いかに大きくとりあげてもらえるのかを目標。一人でも多くの参加協力を得たい。
藤原：個人として出展できるのか？支部は大丈夫なのか？
二上：個店・個企業の出展はできない。支部の協力があれば充実した内容になると思う。
石本：お墓参りのすばらしさの認識とは？なぜ墓石が石なのか？他の素材の墓石の展示は如何なものか？石博の名称とイメージがちがう。予算の無駄使いではないか。
二上：細かい内容についてはこれから詰めていく。
福川：いろいろな素材の墓石については、お墓が石であることの意義を訴えることが目的。消費者の反応どの素材を選ぶのか？問いかけてみたい。今こそ発信すべきである。比較価値を世に問いかけてみたいと思う。
柴田：墓に携わる者として、素材の比較検討はなかなかできないので、視点をかえたものも必要ではないかと思う。土日なので来場者数も見込める。相談室の開催(東京支部) 中央でイベントを行う意味があると思う。
坂口：一般の人への野外で《お墓》のイベントは難しい。モニュメント・彫刻の展示はどうか？ものづくり立国のような一般の人が参加できる体験コーナーなどがあれば、楽しいイベントとなるように思う。
加納：お墓参りのすばらしさ。地区・支部のブースでの相談室 仕掛けづくりがあったらおもしろいと思う
前迫：良いことだと思うが、イメージだけ。開催目的がぶれている。限られたスペースの中なので、「お墓参りのすばらしさ」「石のある豊かなくらし」どちらかに絞った方が良いと思う。何を訴えたいのかわからなくなる。イベントは楽しくなければならぬと思う。
二上：次回審議はイメージを固める。一般の人が楽しめるよう重視したいと思う。

次回審議

(4) 年会費見直し(案)について

望月副会長

望月：公平な会費の見直し。収入が減っている中、10年経っているので会費を見直す。来年3月までにはどうするか決めたい。意見を聞きたい。
瀬川：会費を変えるのは重要なこと。ただし、議案の事業目的が安易ではないか？退会者が増える可能性もある。
石本：会費の値上げ幅を統一してはどうか？交通費支給をもう少し上げてはどうか？
望月：健全経営を目指すならば毎年の収入の中から毎年の支出を支払えるのが健全。SFの為に積立などが必要。交通費の補助は一部個人的意見だが、もう少し増やしたい。J会員についても討議したい
岸田：会の運営は会費で成り立たなければならない。会費で運営できる状態が健全である。公平な会費であってほしい。
藤原：A会員だけ値上げがないのはなぜか？
望月：平等性を考えた。A会員の会費を上げる
藤原：逆に平等ではないとおもう。皆が共有する方が良いのではないかと？
石本：値上げするとA会員が減少してしまうのでは。会員数が減少するのは行政に訴えることができなくなってしまおうと思う。
前迫：鹿児島の場合A会員の値上げがあると退会の可能性がある。つなぎ止めている支部もあるということをご理解いただきたい。

以下継続協議

【報告・依頼事項】C

- | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| (1) 【研修委員会】1 級取得者研修会について | 中村委員長 |
| (2) 【お墓ディレクター】試験及び更新の結果について | 中村委員長 |
| (3) 【研修委員会】お墓物語エピソード募集の状況
現段階で 60 作品応募があった。前は 160 作品応募があった。プレスリリースを産経新聞・東京新聞に掲載。 | 山口副会長 |
| (4) 【事務局】定時総会 出欠の状況
理事出欠状況。未だ出していない方は提出してください。 | 中江専務 |
| (5) 【年次大会実行委員】ワークショップの申込状況
参加の声掛けをお願いしたい。 | 戸高委員長 |
| (6) 理事交通費について（大川委員長の出張）
庵治ストーンフェア青年部交流会 大川委員長出席 | 中江専務 |
| (7) むれ源平石あかりロード広告協賛協力について
広告費として 20 万円計上 | 中江専務 |
| (8) 祈りの杜協力について
祈りの杜をつくる会より、東日本大震災の犠牲者に対し祈る場所をつくりたい。3 万円を支援金の中から支出。 | 川本副会長（代理 報告井口直前） |
| (9) 全国浄土宗青年会からのお礼状及び広報紙 | 井口直前 |
| (10) 飯館村 捨て石出荷基準について新聞掲載の件
基準をクリアし出荷している。 | 望月副会長 |
| (11) 第 2 回東京都への陳情について
全優石、全国石製品協同組合、石産協 3 団体で東京都へ陳情。樹木葬、合葬墓地に関してたくさん作るとは明言されなかったが、計画上はいつている。石材業界が声を上げないと止めることは難しいと思う。4 月の都からの凶面は石碑とは言えない。陳情を継続的に行わないと難しい。臨海（埋立地）に墓地を作るもくろみがある。八柱霊園見学は 3 団体でいかなないと難しい。一般の消費者からみれば購入したくなる形である。もっと良いものを石材業者は提案していかなければならない。結果はどうなるかはわからないが、今後も継続的に都へ意見を出したいと思う。 | 長江副会長 |
| (12) わらび座公演「ブッダ」について
東京・大阪公演の後援（協会名が間違っている） ※日本石材産業協会 産業が抜けている。 | 川本副会長（代理 報告中江専務） |
| (13) 【事務局】2013 年度支部総会日程 | 中江専務 |
| (14) 北海道支部からの支部活動報告
赤川支部長急病の為次回に報告 | 越智地区長 別添「北海道支部新聞」 |
- 監事講評 村田監事：特になし

各支部・委員会より

- 大川：年次大会ワーク 集まれ！若手青年石材人の参加をお願いします。
- 新谷：7/14 近畿地区大会を京都にて開催。祇園祭の時期でもあるので是非参加してほしい。
- 池淵：奈良県支部協賛という形で奈良公園の《燈花絵》という行事がある。毎年 60 万人来園。8/5～8/15 開催。石あかりの小道を並べる。今年も開催すべく準備している。石産協知名度アップの為、補助金をいただきたい。
- 正副にて検討
- 片桐：11/13 九州沖縄地区全体会議を福岡にて開催。皆さまの出席をお願いします。
- 江副：いろいろと温度差があるが、私なりのテーマをつくり協力させてもらいたいと思う。
- 坂本：6/8.9 あじストーン SF に是非、来場してほしい。
- 笠井：5/25.26 に相談室を実施予定。
- 三和：日中交流会を 6/19 10：00 より開催する。出席をお願いします。
- 加納：島根県では石産協島根県支部が中心となり、島根県石材技能士会が設立され支部として加盟。
- 斎藤：後継者を育てる余剰がある人がいない。技術の継承をどうしていくか話し合う必要があるのではないかと。
- 望月（晃）：石塔診断書について、石産協から出せるシステムがあればいいのではないかと思った。
- 戸部顧問弁護士：会費の問題・お墓ディレクター試験の問題・テキストの問題 どう解決するか。協会の在り方、全国組織の維持のために支部がとても重要。何らかのお手伝いをしたいと思っている。

IV. 閉 会

議事録署名人：副会長 山口 康二 ㊟

議事録署名人：監 事 村田 善彦 ㊟

議 長： 副会長 望月 威男

議事録作成人 事務局